

1 県立イタイイタイ病資料館オープン

平成24年4月29日、県立イタイイタイ病資料館がオープンしました。開館式には、地元の国会議員をはじめ、関係者約150名の方々が出席されました。石井知事は、「貴重な資料や教訓を後世に継承するとともに、困難を克服した先人の英知を未来につなぎ、環境と健康を大切にする県づくりを進めます」と挨拶。続いて、来賓の南川環境事務次官や神通川流域カドミウム被害団体連絡協議会の高木代表などから祝辞をいただきました。

式典後、テープカットと施設の除幕が行われ、外観にデザインされた雄大な立山連峰がくっきりと浮かび上がりました。

午後からは、記念シンポジウムを行いました。鏡森館長による講演の後にパネルディスカッションを開催。高木代表などから資料館の開館を迎えた思いが語られ、イタイイタイ病の教訓を未来へつなぐための方策が話し合われました。



2 語り部講話スタート

平成24年5月18日、イタイイタイ病の患者のご家族などから貴重な体験を聴く「語り部講話」を初めて実施しました。

イタイイタイ病資料館では、7名の語り部の方々にお話いただきますが、そのトップバッターを務められた若林さん。嫁ぎ先の夫の祖母が、イタイイタイ病患者で、11年間の看病をされた体験を語られました。当時の様子がよみがえり、ハンカチで涙を拭われる場面もあり、受講者も真剣に聴講されていました。

受講されたのは、南砺市の生涯学習団体の25名のみなさん。「実際の患者のご家族からの体験を聴くことでイタイイタイ病の恐ろしさを実感できた。風化させてはいけない出来事である」との感想があり、「語り部講話」の重要性を改めて認識できました。

今後とも、10名以上の団体を対象に、「語り部講話」を実施していきます。



3 富山県内の小学5年生全員に副読本を配布

イタイイタイ病が二度と繰り返されないことがないよう、次代を担う子どもたちへ、その恐ろしさや克服の歴史をしっかりと伝えるため、小学校での学習支援の一環として作成してきた副読本が、このたび完成し、公害について学習する富山県内の小学5年生全員に配布しました。

副読本のタイトルは、「よみがえった美しい水と豊かな大地～イタイイタイ病に学ぶ～」で、A4判のカラー24ページ。興味を持って学んでもらえるよう、写真やイラストを多く採り入れました。また、資料館の実際の展示と連動した内容とし、資料館見学の事前学習にも活用できるものにしました。

この副読本は、資料館のホームページ（URL <http://itaitai-dis.jp>）からもダウンロードできます。

イタイイタイ病副読本作成メンバー

水上 義行	(富山田原大学 教授)
千場 正行	(富山市立堀川小学校 校長)
松浦 啓	(富山市立奥田小学校 教諭)
石田和義	(富山市立水橋中部小学校 教諭)
三原 茂	(富山市立八尾小学校 教諭)



富山県立イタイイタイ病資料館

〒939-8224 富山市友杉151番地 (とやま健康パーク内)

TEL: 076-428-0830 FAX: 076-428-0833

ホームページ: <http://itaitai-dis.jp>

開館時間: 9:00～17:00

よみがえった 美しい水と 豊かな大地

イタイイタイ病に学ぶ



みんなも
「富山県立イタイイタイ病資料館」
へ行ってみてね！
イタイイタイ病のことについて
くわしく知ることができるよ！
展示を見たら、感じたことを
「メッセージコーナー」で発表したり、
話し合ったりしてみてね。



年 組 番
名 前

資料館のスタンプを
押してね

発行 平成24年3月
富山県

参考文献
イタイイタイ病のはなし(イタイイタイ病対策協議会)／富山県史／富山大百科事典(北日本新聞社)／定本カドミム精製百年 回顧と展望(松浦洋一 桂書房)

制作
株式会社 乃村工業社
写真提供: イタイイタイ病対策協議会、井上智郎(滋賀医科大学名誉教授)、神岡製菓株式会社、富山県業協同組合、林 寿希(50音順・敬称略)
協力: イタイイタイ病対策協議会(敬称略)
デザイン: 株式会社アートポスト、イラストレーション: 金斗 誠